

第31号

★発行 所：太田市 PTA 連合会
 ★発行 責任者：黒田 篤史
 ★編集 担当：太田市 P 連南ブロック
 沢野小学校 PTA、南小学校 PTA
 沢野中央小学校 PTA、尾島小学校 PTA
 世良田小学校 PTA、南中学校 PTA
 尾島中学校 PTA、太田中学校 PTA
 ★印刷 所：株式会社アド・レーベン

市P連おおた

題字：太田市P連会長 黒田 篤史



皆様こんにちは。太田市PTA連合会会長黒田篤史でございます。この場をお借りして開催叶いませんでした。PTA活動の内容を書きたいと思っております。

昨年度に引き続き今年度もコロナウィルスに翻弄されるPTA活動でした。私は太田市PTA会長と兼任で、西ブロックのブロック長も担当しております。今年度の西ブロック担当行事は、『合同新年会』でした。総会も対面で開催できず、皆様と顔を合わせられずにいた中、コミュニケーションを取り取る大切な行事。コロナウィルス感染拡大しているタイミングで、会食を伴う新年会を開催できるだろうか？ブロックの中で話し合いました。太田市長様を始め、来賓、太田市を代表する方々、各小・中・義務教育学校校長・教頭・代表者様達に参加する中で、ウィルス感染が起きてしまったら...。いろいろな憶測が頭をよぎりましました。ブロックでの答えは中止。私も残念だけではないが、いろいろな思いがありました。その後、太田市PTA本部での会議で、ただ中止にするのではなく開催できるように進める、来年度開催するとき、担当ブロックが



困らないよう引き続き資料をつくるなど、意見が飛び交いました。PTAはほぼ初参加の私は、この会議のとき感銘を受けました。開催できなくても来年に引き継ぐ、意味があり行っていたことを途絶えさせない、本当に大切だと思いません。意味がないことなんてないと思えました。子ども達のために大人達が会食を伴う新年会、一見意味がないと思っていました。他校の先生方・代表者様達と意見交換をし、それを自分達の子どもの通う学校で良いことは参考にし、悪いところは話し合う。直接ではないのですが、自分達の子どもの地域の子どもの学校生活が必ず良くなっていくはず。PTA活動がいろいろできないタイミングではあります。行事などできるようなになりましたら、より一層楽しんで開催していきたいと思っておりますので、ご協力、ご理解の程よろしくお願いたします。

コロナ禍でのPTA活動
 太田市PTA連合会副会長
 中央ブロック太田小PTA会長
 薬丸 潔

令和三年度、太田小PTAとしてはコロナ前に開催していたPTA行事を一切開催できませんでした。前年度は、長谷川前PTA会長のもとで、二月に一日美術館を開催し、学校内に美術品を展示して、児童と保護者の皆さんに見てもらったことができた。ところが、本年度は再び感染状況が悪化していることを受け、一日だけの行

コロナ禍でも活動できる
 太田市PTA連合会副会長
 北ブロック藪塚本町中PTA会長
 伏島 一也

今年度の藪塚本町中学校PTAは、「透明化」をキーワードに活動を進めることを総会で決定しましたが、コロナ禍により、様々な活動が中止もしくは開催変更になり、本部役員のモチベーションを保つのに苦労する状態でした。活動について、原則に立ち返り、制限されているからこそ、PTAがどのようなことをしているのか、自分たちの会費が適正に使われているのか、透明化を旗印に、まずは学校とそれぞれが家庭をつなぎ、活動内容等を知ってもらうため、情報発信を強めてい

一年間の活動を振り返って
 母親委員
 小林 理恵

小には、PTAの他に後援会があり、地域で協力いただける方々からのご寄附を募り、後援会で集金を行っていましたが、人選が大変だという声が出ていました。PTAと後援会を一体化させる形にしようと考えています。コロナで活動が出来なかつた分、PTA会費の返還をしようと考えています。コロナ禍で、何かと大変な思いをされている方も多いと思えますので、活動できない分、少しでも返還させていきたいと思います。PTAの組織改正も行うと考えています。太田

こうと考えると、広報紙の充実を行うことにしました。昨年度は二回の広報紙発行でしたが、今年度は例年の三回に加え、学校教職員、PTA、生徒の顔と名前を知ってもらうための紹介号を五月に発行、さらに数本の特色である、部活動中の成績や活動状況を載せた広報紙を二回発行し、年間で六回発行しました。さらに、透明化という面を考えると、活動の基になる会則、運営細則といった規則等について、分かりづらいたとところがあり、新年度までに整備

私自身は初めの頃はとても緊張しておりましたが、委員会の催しはどれも楽しく、さらに会の運営などお手伝いさせていただき、大変良い経験となりました。そしてこういった機会をいただけたことで、他校の方や我が子とは違う学年のご家庭のお話などを伺うことが出来ました。コロナ禍での「ソーシャルディスタンス」が、人との交流や心の距離も希薄にしてしまったような気がして、家庭内教育の孤独を感じていた中、これらのことにとても救いを感じました。ワクワク子育てトキキングなどのグループワークでも、子どもの立場や他の家庭ではどう考えるのか、伝え方、関わり方、議論の全てが非常に参考になりました。年末のクリスマススリーア制作では、慣れない作業ながら夢中になって両手を糊だらけにしながら作り上げ、自宅で家族と楽しく飾り付けたことがとても賑やかで幸せな思い出になりました。

毎月第1日曜
 おおた家庭の日
 家族みんなで語り合い、楽しみあい、協力しあって、家庭のきずなを深め、あたたかい家庭を育みましょう



学校紹介

～沢野小学校・南小学校・尾島中学校・太田中学校～

太田市立沢野小学校

本校は創立140年を超える歴史ある小学校。令和2年3月頃から続くコロナ感染症は、全国的な休校や行事が制限される異例な状況。そんな中、先生方の子ども達への熱い思いから、学年単位での授業参観を兼ねた運動会や感染症対策に万全を尽くした校外学習や修学旅行を体験出来たことは大変感謝しています。



また、子ども達が安全に学校生活が迎えられるように、保護者の見守り活動や青パト活動にも先生方は率先して参加され、さらに時間外でも見回り活動していただいたことは、地域の皆さんも安心して過ごすことが出来ました。

中でも2年前に赴任された時から小暮校長先生による毎朝校門前で子ども達の登校見守りは、保護者と学校の信頼関係を強いものにしました。これからもコロナ禍による経験したことがない厳しい状況は続くと思われませんが、子ども達が安心して過ごせて、いろいろな事柄を体験させられる学校づくりを先生方と保護者が協力し合えたら、また新たな希望に満ちた沢野小になると強く感じています。



い状況は続くと思われませんが、子ども達が安心して過ごせて、いろいろな事柄を体験させられる学校づくりを先生方と保護者が協力し合えたら、また新たな希望に満ちた沢野小になると強く感じています。

太田市立南小学校

昭和23年4月に開校した南小学校は428名(男子202名・女子226名・12/1現在)の児童が勉学に励んでいます。近くには利根川が流れ、本県と首都圏とを結ぶ「刀水橋」を渡れば、埼玉県熊谷市となり、東京へのアクセスも便利な地域となっています。春になると、校庭には象徴である「桜並木」が満開となり、温かく新入生を迎え入れてくれます。



長い南小の歴史の中でも、一際鮮烈なのが、1984年度「第8回全日本少年サッカー大会」で全国優勝の快挙を成し遂げています。南小の高学年玄関にはたくさんのトロフィーや表彰盾が飾られています。いつの時代も地域の皆さまに支えられ、学校教育目標である「笑顔あふれ、たくましく未来をひらく児童の育成」を掲げた先生方の指導を受けて、児童は学校生活を送っています。卒業後は、ほとんどの児童が南中学校に進学して、義務教育の9年間で「安心・安全な地域」で過ごせ、充実したものになっています。

毎年11月中旬には「学校公開」が行われ、我が子の授業を参観したり、公開日にあわせてPTA文化教養部主催の「子育てセミナー」を実施したりしています。今年度は「スマホケータイ安全教室・保護者編」でNTTドコモの講師にZoomで講演をお願いしました。



将来を担う南小の児童の健やかな成長を願い、私たちPTAは南小のますますの発展に貢献していきたいと思っております。

太田市立尾島中学校

本校は旧尾島中学校と旧世良田中学校を統合して昭和55年に開校しました。



本校の数ある活動の中には生徒が自分の将来について考える活動があります。「立志式」と「夢授業」です。

「立志式」は開校以来長年続いている活動で、毎年2年生が行います。ステージ上から一人一人が立志の誓いを披露し、その後立志の誓いや二十歳の自分に宛てて書いた作文を二棟の校舎の間に建てられた立志の塔に納めます。

「夢授業」は近年新たに始まった活動です。地域の様々な職業の方を講師に招いてそれぞれの仕事の内容やその仕事を選んだ理由などを教えていただきます。



2つの活動を通じて生徒達は自分の将来をより具体的に思い描くことができるようになっていきます。

現在はいろいろと制約も多く、大変な状況ですが、私たちPTAは先生方や地域の方々々と協力しながら未来へ向かって行く生徒達を応援していきたいと思っております。

太田市立太田中学校

本校は、本年度開校10周年を迎えた、まだ歩み始めたばかりの学校です。東毛地域で初めての中高一貫校として開校以来、「自ら考え追究する・実行する」を合言葉に、コロナ禍においても工夫した取組を行っています。その取組の一つ一つが生徒一人一人を大きく成長させ、知・徳・体のバランスの取れた「未来を拓く」生徒の育成につながっています。



私たち太田中学校PTAは、そのような生徒たちの成長を少しでも後押ししようと活動しています。

11月に、生徒たちの手作りによる開校10周年記念式典が行われ、10周年記念ソングの歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。この10周年記念ソング『共に未来へ』は、これまで本校が積み重ねてきた10年の足跡を振り返り、この先の未来へ太田中学校の歴史と伝統、そして生徒たちの思いをつなげるための企画として、生徒たちの手により制作されました。歌詞は生徒、保護者からも募集し、生徒と保護者、教師の思いの詰まった大切な曲となりました。



この曲は、未永く、今後も様々な場面で歌い継がれていく太田中学校のかけがえのない宝物となりました。